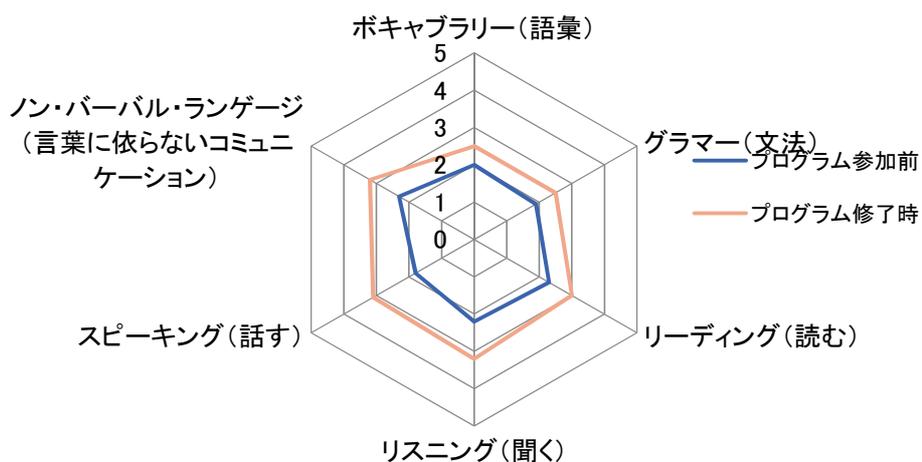


プログラム名	シンガポールオンライン短期体験留学 @南洋ポリテクニク(NYP)
実施時期	2021年9月6日(月)から9日までの4日間
対象	海外に興味がある、英語を使ってみたい、異文化交流をしてみたいという学生
目的及び内容	英語を学び、そして英語でプレゼンテーションを行う。またプログラム内の活動や学生交流に積極的に参加し、異文化体験を通じて、異文化理解(自己理解と他社理解)力を向上させる。

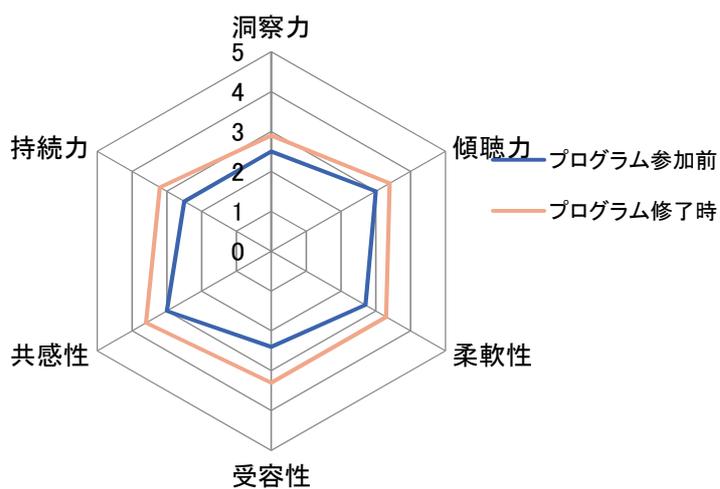
プログラム成果報告は下段表参照(全参加者のスコア平均)

項目	要素	参加前	修了時
コミュニケーション力	ボキャブラリー(語彙)	2	2.5
	文法	1.9	2.5
	リーディング(読む)	2.3	3
	リスニング(聞く)	2.2	3.2
	スピーキング(話す)	1.8	3.1
	ノン・バーバル・ランゲージ(言葉に依らないコミュニケーション)	2.3	3.2
語学力合計点		12.5	17.5
異文化適応能力	洞察力	2.5	2.9
	傾聴力	3	3.4
	柔軟性	2.7	3.3
	受容性	2.4	3.3
	共感性	3	3.6
	持続力	2.5	3.2
異文化適応能力合計点		16.1	19.7
人間力	主体性・積極性	2.4	3.3
	チャレンジ精神	2.7	3.5
	発信力	2.3	3.2
	責任感・使命感	2.5	3.1
	協調性	2.7	3.3
	ストレスコントロール力	2.8	3.2
	規律性	3	3.6
人間力合計点		18.4	23.2

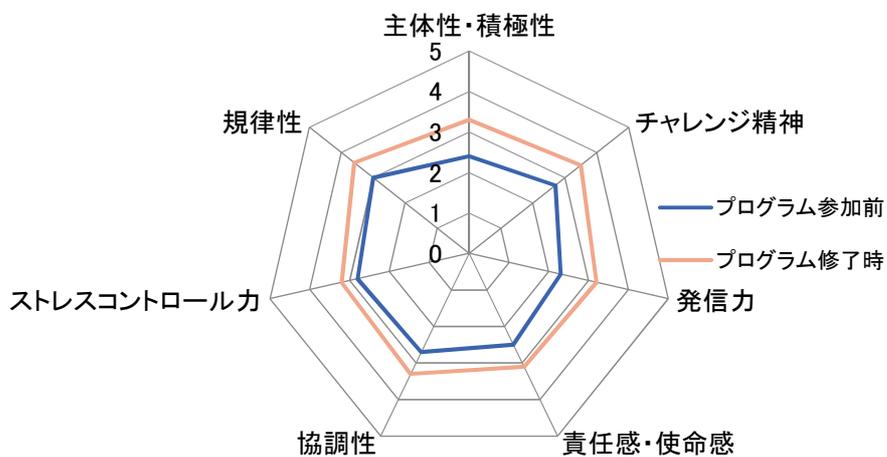
語学力自己評価チャート



異文化適応能力自己評価チャート



人間力、社会人基礎力自己評価チャート



広島経済大学留学プログラム報告書

1 特に専念した学習項目を教えてください。

- 英語のSpeakingを中心に学習しました。
- 旅程の提案の時にいかに相手に伝わりやすい文章を作るかをかなり考えた。わかりやすい説明にするために頭の中で説明する文章を作ることに苦戦した。
- 特に、人間力のチャレンジ精神と積極性に専念した。語学力はすぐに身につかないが、意識1つで積極性やチャレンジ精神は変えられる。4日間という短いプログラムの中でも海外の方と関わる絶好の機会なのに、躊躇してコミュニケーションを取ろうとせず、内気になっていたらせっかくの機会ももたない。自分の成長のチャンスを自分が逃してしまうことになる。そこでチャレンジ精神と積極性に専念した。
- シンガポールの学生や教員との英語でのコミュニケーションを通して英語に慣れ、その内容を1日の終わりに振り返り、新たなボキャブラリーや文法を学習した

2 その成果について教えてください。

- 伝えることが難しい時は、簡単な文法にして、画像や動画を見せながらゆっくり話して行けば良いと思った。また、シングリッシュも話してみたいなと思った。
- 一日目・二日目は、自分の英語力に自信がなかったこともあり、ほとんど会話をすることができなかったが、三日目・四日目になると、英語にも少し慣れてきて完璧な英語ではないが、自分の考えを少し伝えることができ会話することができた。普段は、英語を勉強しても、話す機会がほとんどないため、4日間でもかなり上達したと感じる。
- 相手に日本の魅力や分かりやすい提案ができたと思う相手も興味を持っていた
- 英語が話せない、聞き取れない私でも、シンガポールの学生と一緒に、笑いあうことが出来た。1日目、2日目は少し躊躇していた。しかし、3日目以降は言語の壁を忘れるくらい笑っていた。
- シンガポールの英語に慣れることができ、最初に比べてより聞き取れるようになって会話ができるようになった
- 彼らの話す英語の話すスピードに慣れることに精一杯で聞けなかったこともあったが、海外に行ったことのない僕からしたらとてもすごい体験ができ、また興味が沸いた。

3 現地大学や本学職員の対応はどうか？

- とても優しく、話しやすかった。グループワークの間も、気にかけてくださりました。ジブリなど日本のアニメ、ホラー映画・日本食が好きで、その話で盛り上がった場面もあった。
- 説明などもとても丁寧で、親切に接してくれた。
- 初心者にもわかりやすい表現方法を使ってくれたりスピードもゆっくりだったので焦ることなくレッスンを受けられた
- 非常に良かった。グループディスカッションの際、各グループに参加し、アドバイスや進歩具合を気にかけて、授業スピードを調整して下さった。また、特に英語が出来ない私には、非常にゆっくりなスピードかつ分かりやすい表現で、授業内容や時間などを教えて下さった。
- 英語での説明がとても分かりやすかった。自分たちがあまり英語が出来ないことを心配してくれてゆっくり説明していただいた。
- 学生の英語に関する疑問やオンラインでのトラブルといったこともしっかりと対応していただきました
- とても優しく、聞き取れなかった時にはゆっくりと話してくださり、すごく話しやすかったです。緊張していた僕に対しても緊張をほぐしてくれるようにしていただきました。

4 大学・学校生活中、トラブルはありましたか？それをどのように解決したか教えてください。

- 特にありませんでした。
- PCなどの機械のトラブルはあった。画面がフリーズしたり、PowerPointの共有の仕方など。私は大学からプログラムに参加していたため、職員の方や周りの学生の協力で解決した。
- 一番初めの時に彼らの話す英語のスピードがすごく早かった。これらをすべて聞き取ることは4日間の中ではできなかったが、3日目からはそのスピードにも少し慣れることができた。

5 その他（任意）

- ニュージーランド短期留学を経験してから、時間は空いていましたが、英語で話すことに抵抗なく過ごすことができました。
- オンラインで交流できたが、決まった人しか話せないのが、日常会話をたくさん英語で話すことが出来なかった。
- 機会があればもう一度やってみたいですし、より一層留学やホームステイへの憧れが増しました。
- 貴重な体験ができてとてもよかったです。

6 現地の人と交流して気づいた日本と異なる習慣はありますか？異文化コミュニケーションにおけるカルチャーショックを教えてください。

- 授業が始まってからも、少しご飯食べていたこと。国が小さいため、どこへ行くにも近く便利。公共交通機関を推奨していて、運賃が安いこと。たまたま車の飛行機が家の上を飛んで、通信が不安定になること【日本では、あまりないなと感じました。
- シンガポールの学生は、パワーポイントを作るのも、プレゼンもとても上手くて驚いた。また、発表のときも自分の考えをしっかりと述べていて質問も積極的にしていて、日本の学生との違いを感じた。
- シンガポールの生徒たちは日本の生徒に比べて積極的にコミュニケーションをとってくれていたのが日本人と異なると思った。
- シンガポールの文化の特徴はそれほどないと感じた。シンガポールの食事などに関しては日本とある程度違うが、移住や旅行をしようとした際、大きな影響は受けないうちに思えた。なので、カルチャーショックは受けなかった。ただ、世界と繋がっていると感じる瞬間はあった。それは、時差である。10時からプログラムが開始すると思っていたが、それはシンガポール時間であったことから11時からの開始だったこと。この時差を感じたことは人生で大きな経験になった。今度から世界と繋がる時は、時差に気を付けようと思う。環境保護に非常に熱心な国であると感じた。車の価格が高く、その分、公共交通機関を安くするなどの対策に感心した。
- 現地の多くの方がドリアンを好んで食べていること、物価がシンガポールではとても高く特に車を所有する権利を得るために日本円で約350万円も必要であること
- 習慣がわからないが、日本人は比較的に内気な性格が多いため自分から話そうとすることをためらうことが多いが、シンガポールの生徒たちは自分たちから積極的に話しかけてくれたことが文化？の違いだなと感じました。
- 他文化で成り立ってきた国だから文化に対する抵抗が少ないところ

7 留学プログラムに参加して、身につけることのできた知識やスキルはどんなものですか？

- 話そうとする力。精神力。日本の文化を説明するための知識（英単語も含め）
- プレゼンのスキルが上がったと感じる。普通の大学の授業は、発表をする機会がほとんどなく、プレゼンはとても苦手だった。しかし、このプログラムでは、発表をする機会が多く少し慣れることができた。また、シンガポールの学生はパワーポイントの作成や発表がとても上手く、参考になることが多かった。
- パワーポイントなどビジネススキルと英語の能力どちらも持ってないと国際的な仕事をするときに役に立たないと思った
- 語学力に関して成長は感じられなかったが、コミュニケーション力(ノンバーバルランゲージ)は少し成長出来たように感じた。特に英語力がなかった私は、表情やジェスチャーで伝えることを意識した。英語を話さず聞き取れず、相手を困らせていたが、一緒に笑いあうことが出来た。これは言葉の壁を超える最強の武器だと私は思う。また、継続力が身についたと思う。これまで、英語を勉強しようとしても三日坊主で終わっていた。今回のプログラムの最後のプレゼンテーションで伝えたい事が言えなかった。また、あまりの英語の出来なさにショックを受けた。そこから、大きな挫折感を味わったことで、今までにないモチベーションを手に入れることが出来た。プログラム終了後、シンガポールの学生と連絡先を交換し、毎日連絡を取るようになっている。
- 留学プログラムに参加して、英語を通して相手の国の文化や生活様式について知ることができた。また、英語を用いた積極的なコミュニケーションと小さな失敗を気にしないチャレンジが大切だと言うことを学んだ。
- リスニング能力が磨かれたと思いました。スピーキング能力はあまり伸びなかったと思います。
- グループワークを英語でするのがとても難しく感じたので次に活かしたい。

8 留学プログラムを通してどんなことを学びましたか？

- どう説明するか悩むよりも、簡単な言葉をつなげて話すと意外と伝わること。
- 英語を使って話すことの重要性を学ぶことができた。今までの英語の勉強は、リーディングなどがや文法、単語などが中心で、正しい英語でなければ、いけないという気持ちが強かったが、拙い英語でも話してみると、相手も理解してくれるということが学んだ。分からない単語があっても、簡単な英語で説明することで解決することができた。
- 言葉が通じなくても一緒に笑いあえることを学んだ。もちろん、英語が話せて自分が伝えたい事を相手に言える方が良い。しかし、その土台にあるのは表情やジェスチャーといったコミュニケーション力(ノンバーバルランゲージ)であると私は感じた。英語が絶望的なくらい話せない聞き取れない私でも、シンガポールの学生と笑いあえた。しかし、笑いあうには時間もかかった。1日目、2日目は英語に自信がなく消極的になっていたため、海外のジョークで笑うことすら難しかった。しかし、3日目以降、英語が話せないことを逆手にとって、馬鹿になることを意識した。そしたら、恥じらいもなく積極的に話せるようになった。話している英語は2つくらいの単語を並べているだけでひどい英語だが、相手になんとか伝わった。このことから、語学学習においては恥じらいを捨て(馬鹿になり)、積極的に接することが重要だと学んだ。
- 言いたいことが言えた。わかりやすくプレゼン資料を作ることが出来た。
- 同じ英語を使っている、国によって発音や文法が違ったりすること。また、日本は座学の授業が多いものの海外ではディスカッションをしたり、プレゼンしたりする授業が多いということ
- 留学プログラムを通して改めて英語を使うことの重要性を学び、さらに他の国々への興味が広がり海外のことをもっと知りたいという気持ちになった。
- シンガポールと日本の文化の違いや、シンガポールでのマナー。シンガポールの生徒たちのコミュニケーション能力の高さ、積極性、日本とシンガポールの考え方。

9 プログラムに参加して、自分に足りないと感じた知識やスキル、準備しておけばよかったこと、次の学生が準備しておくよりよいことを教えてください。

- 英単語と、英会話のための言葉や表現。自然な英会話をしたいなと思いました。
- 自分には、まだまだ英語力が足りないと感じた。プログラムの前からも頑張って英語を勉強しておけば、もっとシンガポールの学生と楽しく会話することができたのではないかと考えた。
- パワーポイントやビジネススキルなど今の学生ができていないことが僕にはできていませんが正直自分も他の人も感じたと思うが、英語の会話のスキルは必須だと思った
- 自分に足りないと感じたスキルは、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング・グラマー・ボキャブラリーといった語学全般である。特に、リスニングとスピーキングに関しては絶望的である。より多く英語に触れ、英語に対する抵抗をなくしておくべきだと感じた。
- 英語の実力も大事だが、かなりプレゼンをしたので、プレゼンの仕方を先に学んでおくべきだと思う。
- より良いコミュニケーションを図るための更なる英語力、失敗をあまり気にしないこと
- 速いスピードの英会話に慣れておくこと、自分の考えていることを共有するための語源化、スピーキング能力、文法や単語をもっと覚えること。

10 制度 ● 通学 ● 学費 ● 生活費 ● 観光などで次の学生に勧めてあげられるものはありますか？

- 4日間でも、十分に楽しく学びあるプログラムでした。実際に行って話したり、学んだり、観光したいと思います。
- 4日間という少し短い期間だが、無料で参加することができ海外の学生と交流することができるとても良いプログラムだと思う。
- 現地への留学ではない、オンライン留学でも得られるもの・感じられるものは多くある。たとえばそれが4日間のプログラムでも、無料で参加できる制度(プログラム)は積極的に参加したほうが良い。
- 短すぎる。慣れたころ、これから交流が始まるという段階で終わってしまった。
- 屋台などの食事は料金が安いので、とてもよさそう。観光については、どこを回ってもとてもいいものがみられると思う。日本にはないものがたくさんあるから、とても楽しく観光することができると思う。
- 自分から臆さず積極的に話しかけること

11 プログラムを修了し、帰国後はどんな学生生活の計画を立てていますか？ 卒業後の計画も踏まえて書いて下さい。

- TOEICの勉強と英会話のための勉強をしようと考えています。また、自分の訪れてみたい国の文化や歴史のほか、日本の文化についても知り、話すことができるようになっておきたいです。
- 今年の12月にあるTOEICで650点以上をとれるように勉強する。卒業までには、800点をとれるようにする。今後も、海外の人と交流する機会があれば積極的に参加していきたい。
- 英語の勉強を毎日5時間に伸ばして行ってオンライン英会話でもっとしゃべれるように言葉を話す勉強もする
- プログラムで感じた英語への挫折感は今後のモチベーションに大きな影響を与えた。そのおかげで、英語に毎日触れるようになっている。英語のラジオや洋楽を聞いたり、洋画をみたり、特に行っているのが、シンガポールの学生と毎日連絡を取ることだ。卒業後は、海外の人と一緒にいられる(関わられる)職に就きたいと考えている。
- 今回、初めて留学プログラムに参加したが、自分自身の英語力をもっと高めて実際に海外に行きたい。
- 英語の勉強にもっと力を入れて卒業後は留学のために就職せず、勉強するつもりです。
- このプログラムを終えた後も継続して英語力の向上に取り組んでいきたいと考えている。TOEICに向けた勉強や英語を話す機会をできるだけつづけていきたい。卒業後は日本での就職と海外での就職をどちらも考えている。英語圏の国に住んでみたい。
- もっとリスニング能力とスピーキング能力を高めること。また、自分の言いたいことを英語で話せるための語源化、単語や文法をもっと学ぶこと。
- 卒業後カナダに行くので話せるようになっていくのもっと楽しめると思うので英語の勉強をする。

12 その他、プログラムへの要望 ● 意見がありましたら記入下さい。

- 限られたシンガポールの学生としか、話す機会がなかったため、話をした学生とは、仲良くなれたと思いますが、他の学生とも話してみたいなと思いました。
- 先生方にはすごく助けをもらうことが多かったため、次は自分の力でできるようにしたいと思いました。
- 人数差があって難しいと思うけど個人間で話す時間が欲しかった。